

# そのとき、地域で守るために

## 日ごろ、自主防災組織は何をするの？

### 防災の知識を身に付けよう

- パンフレットや手引書などの活字だけでは住民の顔も見えず、コミュニケーションが十分に取れません。組織活性化の第一歩として「講演会」「防災施設の見学」などに取り組み、防災の知識を身に付ける活動を行いましょう。
- 地域のみんなで集い、住民間のコミュニケーションを深めることで、自主防災活動には大切です。

#### 講演会の内容は？

地域のニーズを把握して、防災全般や消火訓練、応急救護講習など、講演内容を決めましょう。

#### いろいろな方法を使って効果的な広報を！

講演会などを開催する場合は、ポスターやチラシだけでなく、回覧板やPTAを通じた案内など、いろいろな方法を利用して広報しましょう。口コミや誘い合いも効果的です。開催については、地域で行われるイベントと組み合わせて開催するなど工夫しましょう。

### 自主防災活動の支援

- 豊中市では、「出前講座」など防災知識の普及に役立つさまざまなイベントを開催し、自主防災活動を支援しています。地域での自主防災活動について、ご不明なことなどがありましたら、気軽にお問い合わせください。

〈お問合せ〉危機管理課 ☎ 6858-2683

### 地域で話し合おう

- 日ごろから、いざというときに困らないために、自分たちの地域で役立つもの（防災設備、避難場所）や地域の特色（危険な場所など）について、みんなで話し合って情報を共有しておきましょう。
- 役員の人に任せっきりにするのではなく、みんなで協力して活動することが大切です。

#### 消防団との連携

消防団はさまざまな災害から地域を守るために、住民の中で育まれ、消防や防災に関する豊富な知識と経験、技術を持っています。日ごろのアドバイザーとして、また、災害時の協力機関として、消防団と連携を取り、協力して活動しましょう。



### 防災資機材を備えよう

- 情報伝達・消火・救出救護・避難誘導など、災害時に防災活動を行うために必要な「資機材」を備えておきましょう。
- 「資機材」は、地域によって必要なものが異なります。例えば、集合住宅の多い地区や木造家屋の密集する地区では、どんなものが必要でしょうか？それを地域のみんなで話し合って、いざというときに役立つ資機材を選びましょう。



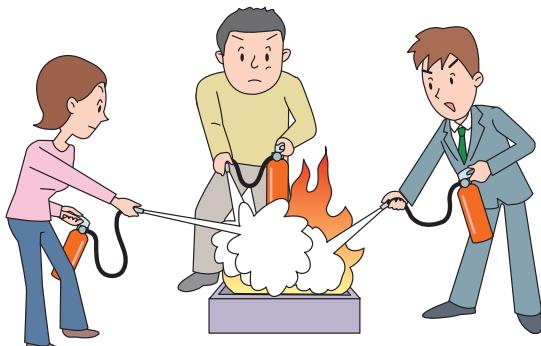
〈一般的な資機材の例〉ハンマー、バーレ、大バーレ、のこぎり、スコップ、ツルハシ、掛矢、おの、鉄線バサミ、ロープ、ヘルメット、担架、防水シート、チェーンブロック、ジャッキ、携帯用拡声器、携帯用投光器、水バケツ、軍手など

## 防災訓練をしよう

- いざ災害に直面すると、なかなか思うように体は動かないものです。
- 災害に立ち向かうために、日ごろから繰り返し訓練を行い、災害時に備えておきましょう。

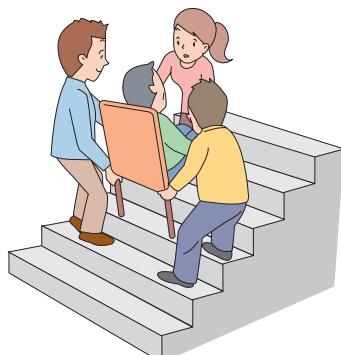
### 消火訓練

消火器の使用方法など、消防のための技術を身に付けます。



### 情報伝達訓練

地域における被害状況、避難状況などの情報をいかに早く集められるかをチェックします。



### 救出救護訓練

バール、ジャッキなどの使い方を学び、家屋が倒れたり、落下物にあたるなどしてけがをした人の救護活動や応急手当の方法を身に付けます。



### 避難誘導訓練

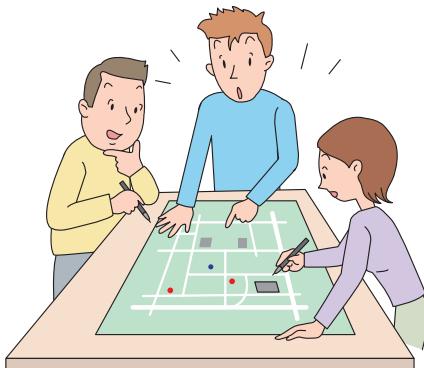
避難場所まで早く安全に避難できるようにします。また、各個人レベルでの避難時の携行品や服装のチェックを行います。

## 簡単にできる災害図上訓練 DIG(ディグ)

- DIG (Disaster〈災害〉、Imagination〈想像力〉、Game〈ゲーム〉)とは、みんなで地図を囲みながら災害時の対応策を考える災害図上訓練のことです。

### DIGの特徴は

- 自分で地図に書き込んでいくことにより、災害をより具体的にイメージできるようになります。
- 決まったルールがなく簡単で、経費もほとんどかかりません。
- 日ごろ気付かなかった地域の防災対策が明らかになり、参加者の防災意識が向上します。



あなたの家の位置を地図にマークしましょう

避難場所までのルートを記入しましょう

自宅や避難場所周辺の危険箇所などを記入しましょう

防災設備(街頭消火器など)や災害時に役に立つ場所などの位置をマークしましょう

地図に書き込まれた情報をみんなで確認しながら、地域に必要な防災対策について話し合いましょう

## 防災訓練の支援

自主防災組織の活動の一環として行われる「防災訓練」について、技術的な助言などを行います。

### お問合せ

豊中市北消防署予防広報課 6846-8472  
豊中市南消防署予防広報課 6334-3454  
豊中市新千里消防署予防広報課 4860-6119